

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 11 月 17 日(水) ~ 平成 22 年 11 月 30 日(火))

平成 22 年 12 月 1 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 金星探査機「あかつき」の金星周回軌道投入日の決定
JAXA は、「あかつき」の金星周回軌道投入日を 12 月 7 日(火)と決定した。金星周回軌道に投入するための軌道制御エンジンの噴射を、12 月 7 日(火)8 時 49 分 00 秒(日本時間)に実施し、同日 9 時 1 分 00 秒に噴射を終了し、その後、姿勢変更等を経て、同日 21 時頃に金星周回軌道を決定する予定。「あかつき」は金星軌道投入後、約 2 年をかけて金星の大気を調査する。
- 「はやぶさ」カプセルから 10 分の 1 ミリメートル程度の物質を新たに確認
JAXA は、11 月 29 日(月)、「はやぶさ」のカプセル内の分析作業により、100 分の 1 ミリメートルから 10 分の 1 ミリメートル程度の粒が数百個新たに確認されたと発表した。「イトカワ」の物質であるかどうかについては、今後の詳細な分析が必要。

宇宙開発に関する海外の動向

- ミノタウロスロケットによる複数衛星の打上げに成功 【米】

11 月 20 日(土)1 時 25 分(世界標準時、以下同じ)、米オービタル・サイエンシズ(OSC)社は、コディアック射場より、ミノタウロス 4 ロケットを打上げ、米国航空宇宙局(NASA)と米国防総省(DOD)との技術実証プログラム「STP(Space Test Program)」のミッション「STP-S26」における技術実証衛星「STPSat-2」等の、計 7 機の所定の軌道投入(低軌道)に成功した。打上げ時の質量は合計約 483 kg。

- デルタロケットによる軍事衛星の打上げに成功 【米】
11 月 21 日(日)22 時 58 分、United Launch Alliance(ULA)社は、ケープカナベラル空軍基地よりデルタ 4 重量級ロケットを打ち上げ、米国家偵察局(NRO)の機密軍事衛星「NRO L-32」の所定の軌道投入に成功した。
- 長征ロケット、通信放送衛星の打上げに成功 【中】
11 月 24 日(水)16 時 9 分、中国は西昌衛星発射センターより、長征 3A ロケットを打ち上げ、衛星運用企業チャイナ・サットコム社(中国衛星通信集团公司)の通信放送衛星「中星 20A」の所定の軌道投入(静止トランスファー軌道)に成功した。打上げ時の質量は約 2,300 kg。
- アリアンロケットによる通信衛星の打上げに成功 【米英仏】
11 月 26 日(金)18 時 39 分、アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターよりアリアン 5 ECA ロケットを打ち上げ、英アバンティ(Avanti Communications Group)社の通信衛星「HYLAS-1」および米インテルサット社の商業通信衛星「インテルサット 17(Intelsat-17)」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。打上げ時の質量は合計約 8,110 kg。